

令和2年度
重要事項要望書



笑顔みちる水都 とくしま

徳 島 市

日ごろは、徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、徳島市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行や都市部への人口流出による地域の活力低下、南海トラフ地震をはじめとする自然災害リスクの高まり、さらには、高速道路の延伸による関西圏との直結など、大きく変化してきております。

こうした中、徳島市では、まちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン」に掲げる施策をはじめ、市民目線で様々な取り組みを展開し、「市民満足度の高い、多くの人に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまち」の実現に全力で取り組んでおります。

また、地方創生への取り組みとして、国が東京一極集中の是正に向け策定を進める「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や県の総合戦略を勘案するとともに、若者や産学など幅広い分野から意見を徴取し、地域の特性を生かした徳島市の次期総合戦略を今年度中に策定することとしており、地方創生のさらなる充実・強化に努めているところでございます。

しかしながら、徳島市ならではの強みを生かした独自のまちづくりを機動的かつ戦略的に推進し、周辺自治体との連携強化を十分に図りながら、「県都とくしま」を再生させるためには、徳島市自らの努力はもちろんですが、徳島県のご支援やご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、令和2年度徳島県予算の編成に際し、徳島市にとって必要かつ緊要な別添の要望事項について、是非ともご理解と特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

徳島県知事 飯 泉 嘉 門 殿

徳島市長 遠 藤 彰 良

令和2年度 重要要望事項 目次

県主管部局	要 望 事 項	頁
危機管理部 農林水産部	食肉センター事業への支援について	1
商工労働観光部	東アジア市場向け大規模商談会等の開催について	3
県土整備部	徳島市内の鉄道高架事業の推進について	5
県土整備部	高規格道路等の整備促進について	7
県土整備部	県施行による一般道路事業の推進について	9
県土整備部	県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進について	11

食肉センター事業への支援について

< 県主管部局 危機管理部 ・ 農林水産部 >

【要望の趣旨】

施設・設備の老朽化や処理頭数の減少などの課題を抱えている本市食肉センターの運営等に対する支援について要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 当センターは、県内でと畜される牛の約90%を処理しており、県域の基幹的な流通拠点施設。
- 畜産振興・徳島ブランドの育成を進める重要な役割を担っている。
- 改築後30年が経過しており、設備の老朽化が著しい。
- 食肉の輸出に向けた海外戦略を展開するうえで、当センターの役割が、より重要度を増している。



食肉センター

課題

- 設備更新による多額の改修費用は、本市の財政上大きな負担となっている。



本市単独で運営継続が困難

- 海外市場への販路拡大等に不可欠な国際的な衛生管理基準HACCP等に対応した高度な衛生管理ができる施設整備が必要となっている。



現施設では対応が困難

当センターが県域における基幹的な流通拠点としての役割を果たし、食肉の安定供給や畜産のさらなる振興を図るためには、徳島県の積極的な支援が必要である

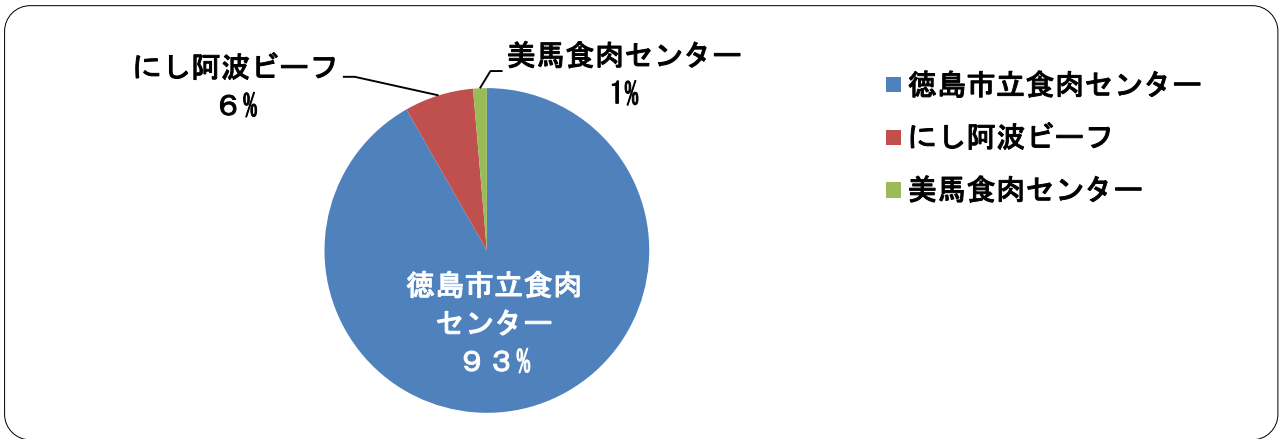
◆具体的要望内容

本市食肉センター事業の経営の安定化及び適正規模の新施設整備のため、次の事項について特段のご配慮をお願いいたします。

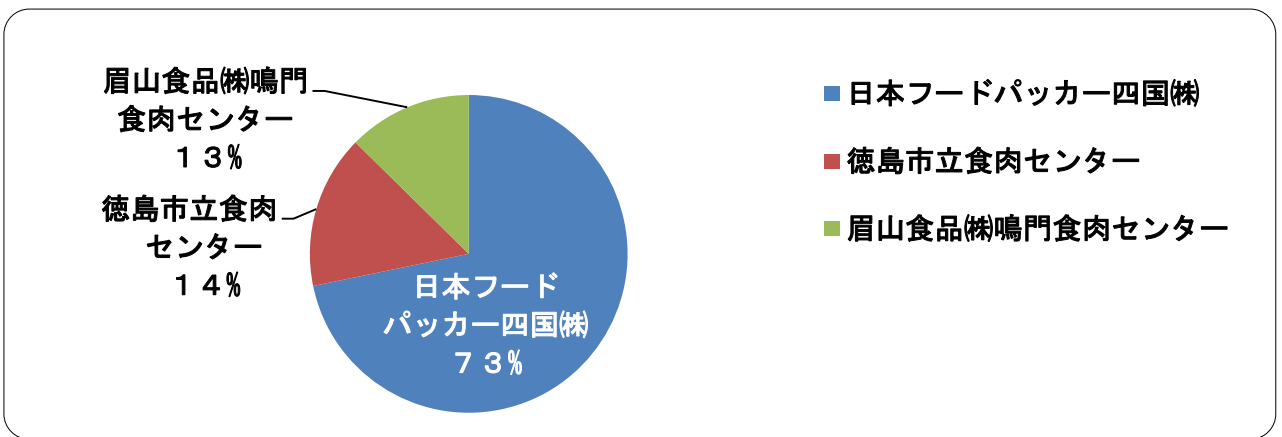
- ① 徳島県全体のさらなる畜産振興のため、県内食肉処理施設の再編合理化の推進
- ② と畜場衛生確保対策事業補助制度の継続及び補助限度額の増額
- ③ 食肉センター新施設整備に伴う県補助金等の支援

徳島市担当部課名 経済部 農林水産課

1 徳島県内牛のと畜頭数割合（平成30年度実績）



2 徳島県内豚のと畜頭数割合（平成30年度実績）



3 県内市内の牛・豚飼養頭数の推移

(1) 牛（肉用牛）

年度	徳島県		徳島市	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
平成26年度	207	24,800	7	624
平成27年度	202	22,600	7	585
平成28年度	197	22,600	7	532
平成29年度	197	22,700	7	532

(2) 豚

年度	徳島県		徳島市	
	飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養頭数
平成26年度	29	39,600	0	0
平成27年度	—	—	—	—
平成28年度	25	36,200	0	0
平成29年度	23	39,500	0	0

※阿波の畜産（徳島県）参照。徳島県家畜保健衛生所の聞き取り



徳島県内における徳島市内の飼養頭数の割合は、平成29年度で牛が約2.3%、豚については0%であり、市内産の割合は非常に少ない。

東アジア市場向け大規模商談会等の開催について

＜ 主管部局 商工労働観光部 ＞

【要望の趣旨】

徳島への訪日外国人旅行者のさらなる誘客と、新たな訪日旅行商品の造成を図るため、現在国内旅行会社等向けに行われているオール徳島観光商談会の海外版となる、東アジア（台湾・香港・中国等）の旅行会社及びメディア向けの大規模商談会と、F A Mツアーの徳島開催を要望するもの。

◆現況・課題等

現 況

【徳島市の取組】

○平成30年度まで

- ・オール徳島観光商談会参加（H30.5 徳島県主催）
- ・香港での観光商談会参加（H29.11 徳島県主催）
- ・香港旅行会社等への営業活動（H30.12 徳島県主催）

○令和元年度

- ・オール徳島観光商談会参加（R1.5 徳島県主催）
- ・J N T O主催による大規模商談会参加（R1.6 旅館組合と合同）

課 題

●宿泊者数増加による観光消費額の拡大

- ⇒東アジア市場からの旅行者の獲得
- ⇒オール徳島体制で海外旅行会社等に直接P R可能な環境の確保
- ⇒J N T O主催の大規模商談会の効果を持続させるための取り組みの実施
- ⇒海外旅行会社等が徳島の魅力に触れる機会の提供

徳島への訪日外国人旅行者数を増加させるためには、現在国内向けに効果を上げている「オール徳島観光商談会」を東アジアの旅行会社、メディア等に向けて展開する必要がある

◆具体的要望内容

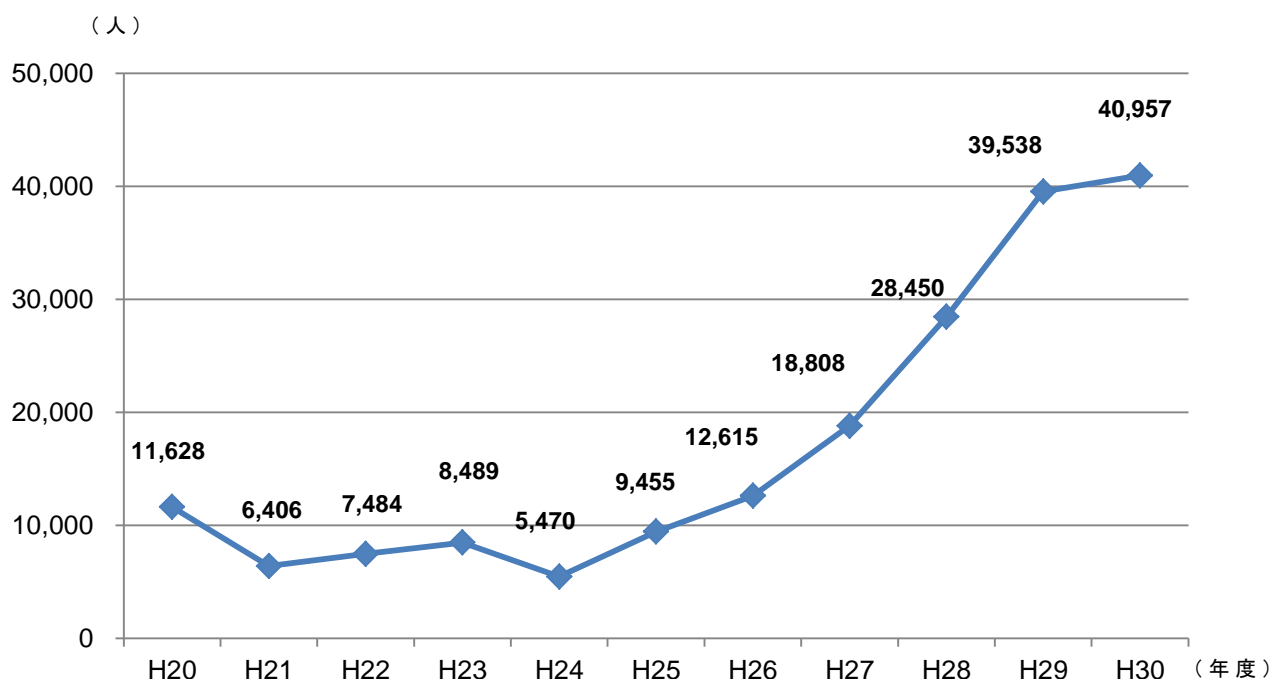
徳島への訪日外国人旅行者のさらなる誘客と、新たな訪日旅行商品の造成を図るために、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 海外旅行会社、メディア等を東アジアから招聘し、県内観光関連事業者との大規模商談会を年1回程度の継続的な開催
- ② 徳島の魅力に直に触れる機会を提供し、商品造成と現地メディア露出拡大につながる可能性を高めるため、大規模商談会に合わせた県内F A Mツアーの開催



徳島市担当部課名 経済部 観光課

1 徳島市内外国人旅行者延べ宿泊者数の状況



2 訪日外国人旅行消費額の状況

	平成 24 年	平成 30 年
訪日外客数	8,358,105 人	31,191,856 人
訪日外国人旅行消費額	1 兆 846 億円	4 兆 5,189 億円
1 人あたり	129,798 円	153,029 円
泊数	12.3 泊	9.0 泊

- (1) 訪日外国人旅行者数の増加に伴い、訪日外国人旅行消費額は増加しているものの、宿泊日数や1人当たりの単価は伸び悩んでいる。
- (2) 県内での宿泊を伴う旅行が増加することで、旅行消費額の拡大が期待できる。

徳島市内の鉄道高架事業の推進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

本市が取組を進めているまちづくりと一体となった鉄道高架事業の推進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- J R 高德線、徳島線及び牟岐線
 - ⇒ 本市中心部は、様々な都市機能が集積する本県の政治・経済・文化の中核であるとともに、交通の要衝となっている。
 - ⇒ J R は陸上交通の大動脈として、県勢全体の発展に大きな役割を果たしている。
- 佐古駅を中心とした 3.7 km 区間が平成 7 年に完成
 - ⇒ 新たな道路や高架側道の整備により、交通渋滞が緩和され、また高架下を駐輪場に活用するなど、利便性の高いまちが構築され、都市の活性化が進んでいる。

課題

●徳島駅西－文化の森駅付近(4.7km)

多くの踏切(13箇所)や立体交差により円滑な移動ができない

様々な都市活動の支障となり、中心市街地の活力が低下

まちの魅力を生かしてきていない

さらには

避難路の確保や救命・救急活動の迅速化等、災害に強いまちづくりが喫緊の課題

将来に向けて本市が持続的に発展していくためには、まちづくりと鉄道高架事業を一体として行う必要がある

◆具体的要望内容

徳島市では、鉄道高架事業と一体化した徳島駅周辺の整備により、中心市街地におけるにぎわいの創出やまちの魅力づくりを可能とする新たなまちづくり計画を策定いたしました。今後、まちづくり計画の内容の深度化を図り、その実現に向けて取り組んでいくところでございます。

つきましては、本市が取組を進めている 駅周辺のまちづくりへの協力と鉄道高架事業全体の早期完成 に向けて、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 都市整備部 まちづくり推進課

徳島市内の鉄道高架事業の概要図



踏切		○
都市計画道路	供用区間	■
	計画区間	■

高規格道路等の整備促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

広域交流の活性化や中心市街地の慢性的な交通渋滞の解消を図るため、四国横断自動車道の整備促進及び徳島自動車道の早期4車線化並びに徳島環状道路の整備促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

四国横断自動車道・徳島自動車道

- ・四国の高速道路ネットワークを形成
- ・本市と京阪神圏との広域交流に大きな効果を発揮

高速道路
を補完

徳島環状道路

- ・本市中心市街地周辺の交通渋滞の解消に大きく寄与

現況

○四国横断自動車道

- ⇒徳島東 IC-徳島 JCT 間は、令和3年度供用に向け整備中。
- ⇒津田 IC-徳島東 IC 間は、令和2年度供用に向け整備中。

○徳島自動車道

- ⇒暫定2車線区間が約8割。阿波 PA 付近 7.5km の付加車線を整備中。
- ⇒H31.3に「脇町・美馬間」4.8km の付加車線設置を事業許可。



○徳島環状道路

- ⇒徳島東環状道路 末広住吉工区内のランプ(940m)が H31.3 に開通。

課題

●四国横断自動車道

- ⇒高速道路の建設に伴い影響を受ける地域の道路、水路、集会所等の整備が必要。
- ⇒堤外の徳島県木材団地内に「津波避難場所」の整備が必要。

●徳島自動車道

- ⇒利用者の安全性、快適性が不十分。
- ⇒大規模災害の対応に不安。

●徳島環状道路

- ⇒都市内交通や通過交通が市内中心市街地に集中するため、交通渋滞が慢性化し、日常生活や地域の経済活動に深刻な影響を及ぼしている。

生産性を高め地域の活性化を図るためには
高規格道路等の整備を促進する必要がある

◆具体的要望内容

高規格道路等の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

① 四国横断自動車道の整備促進

- ・小松島 IC-徳島 JCT 間の側道整備事業及び周辺対策事業に対する支援
- ・津田 IC の整備促進及び高速道路を活用した津波避難施設の整備

② 徳島自動車道の早期4車線化

③ 徳島環状道路の整備促進

- ・徳島東環状線（末広住吉工区、新浜八万工区）
- ・徳島西環状線（国府工区、国府藍住工区）

徳島市担当部課 都市整備部 広域道整備課、危機管理局 危機管理課

『徳島環状道路』の早期整備で中心部の渋滞緩和！ 地域生産性の向上による『地方創生』実現を！！

路線名	番号	観測地点 地名	平日24時間交通量(台/日)
一般国道55号	①	徳島市大松町上の口	44,523
	②	徳島市八万町沖須賀	58,962
一般国道11号	③	徳島市川内町鈴江北	57,493
	④	徳島市東吉野町1丁目	70,906
	⑤	徳島市徳島本町1丁目	60,247
一般国道192号	⑥	徳島市国府町観音寺	20,505
	⑦	徳島市庄町	28,928
	⑧	徳島市南出来島町	32,347

※H27年度 交通センサスより



**徳島市中心部
渋滞状況**
一般国道11号
徳島市中洲町付近

**徳島東環状線
川内工区
(H24.4月 供用)**



**徳島東環状線
阿波しらさぎ大橋
(H24.4月 供用)**



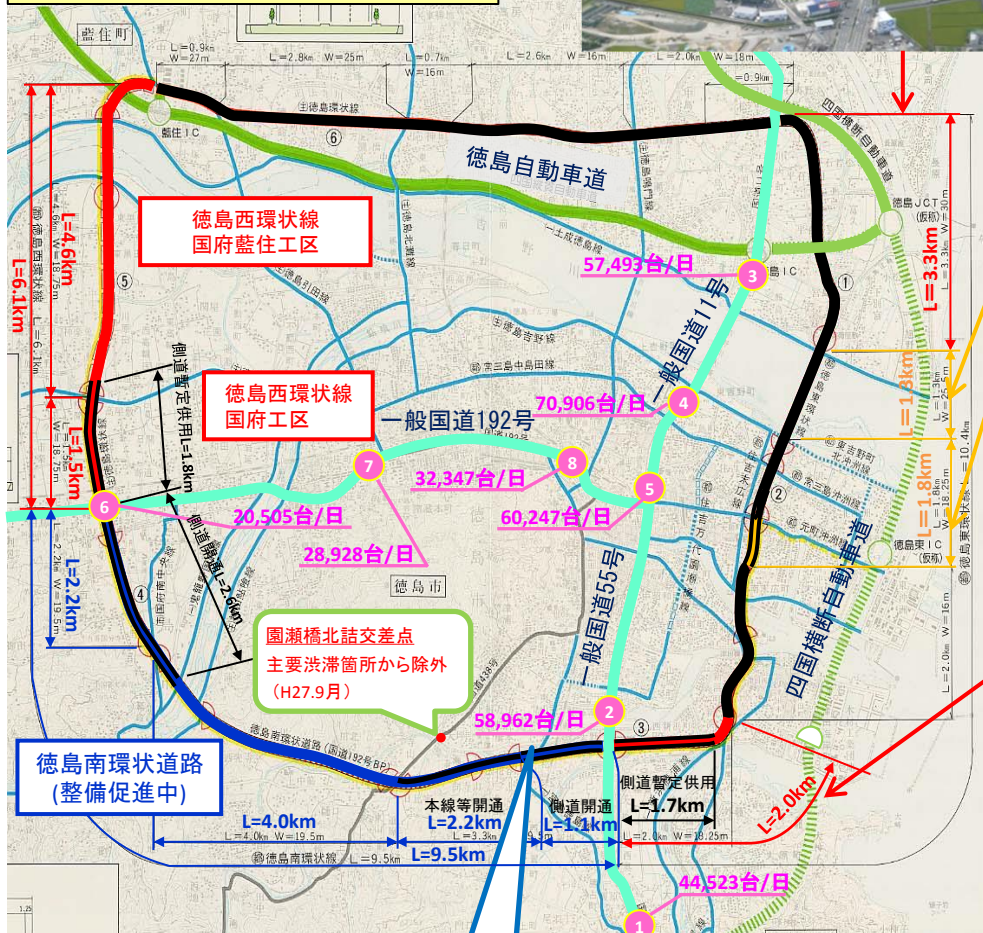
**徳島東環状線
末広住吉工区
(整備推進中)**



**徳島東環状線
新浜八万工区
(整備推進中)**



徳島環状道路 約35km



県施行による一般道路事業の推進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

本市と隣接市町村を結ぶ主要幹線道路の渋滞緩和や安全で安心な道路環境を確保するため、早期に道路の拡幅や施設整備の推進について要望するもの。

◆現況・課題等

現況

○国道 438 号ほか 2 路線

- ・自動車等の交通量が多い
- ・局部的に道路幅員が狭小
- ・道路網が不十分

課題

- 朝夕のラッシュ時には、交通渋滞が起こりやすく、交通事故も発生しやすい。

交通渋滞の緩和や安全で安心な道路環境を確保する必要がある

◆具体的要望内容

次の路線の早急な道路拡幅改良や施設整備の推進などについて、特段のご配慮をお願いいたします。

① 渋滞緩和のため早期に計画を立て、推進していただきたい路線

- ・国道 438 号のうち城南町 1 丁目から園瀬橋の間の拡幅改良整備



国道 438 号

② 現在進行中であるが、なお一層推進していただきたい路線

- ・県道西黒田中村線として、市道西黒田芝原線を活用した県道第十白鳥線までの拡幅改良及び新道整備
⇒ 交通ネットワーク向上のため
- ・県道徳島上那賀線のうち飯谷町高良地区、小松島市田浦地区の拡幅改良整備
⇒ 道路幅員が狭くなっており危険であるため

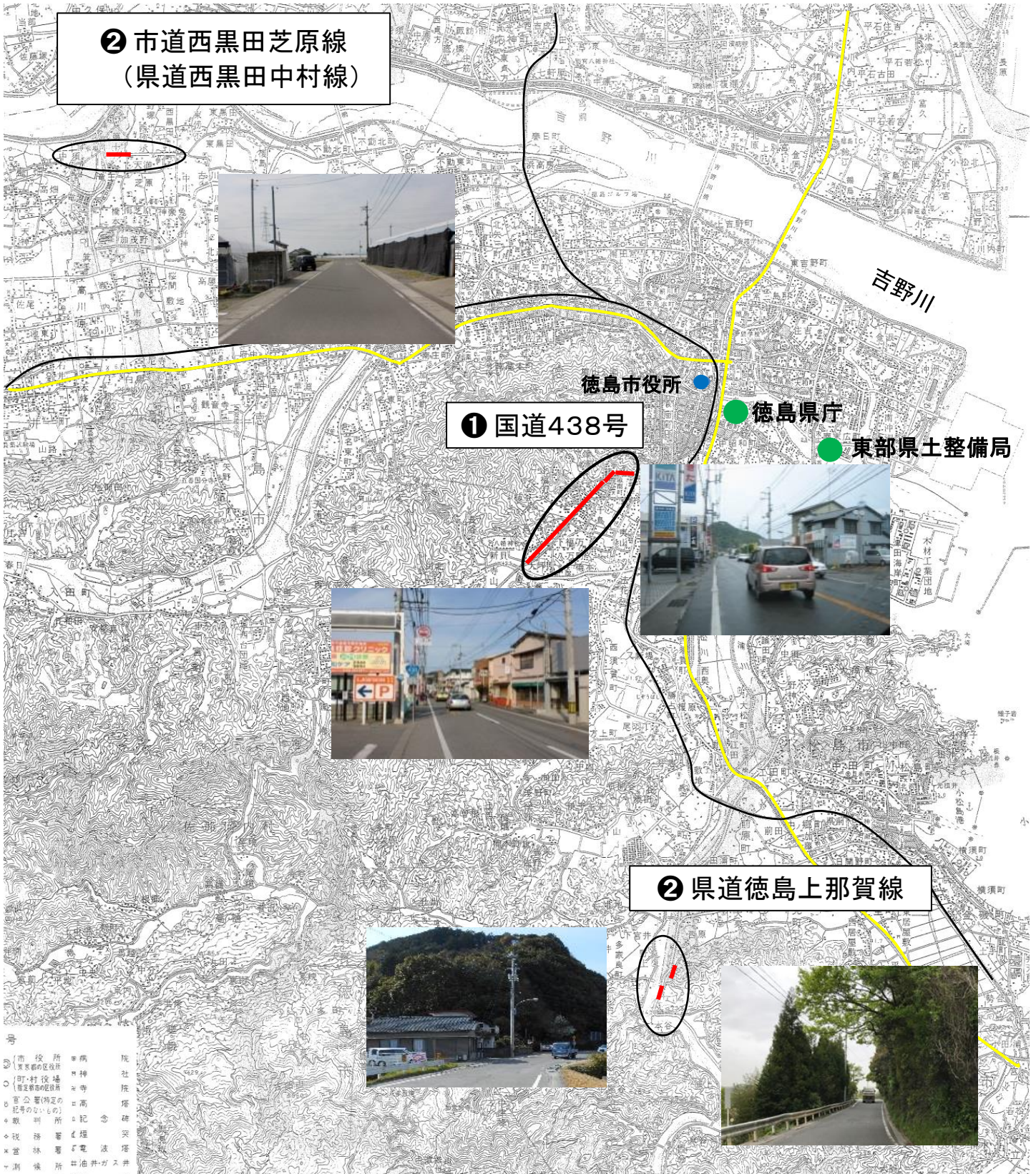


県道徳島上那賀線

道路用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

徳島市担当部課名 土木部 道路建設課

重要事項の要望場所図



承認番号 平30徳島市指令第127号

県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進について

＜ 県主管部局 県土整備部 ＞

【要望の趣旨】

台風等による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震による津波の被害の軽減を図るため、徳島市内の県管理河川における必要な対策の促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 園瀬川
⇒改修工事が進んでいるが、無堤防地区が解消されていない。
- 多々羅川
⇒河道拡幅等の未整備箇所が多く残っている。
- 打樋川
⇒排水対策が必要である。
- 勝浦川
⇒堤防の地震・津波対策が必要である。
- 飯尾川
⇒河川改修、排水対策が必要である。

課題

- 大規模な台風やゲリラ豪雨の発生時には、流域で河川が氾濫し、甚大な被害が発生することが懸念される。
- 南海トラフ巨大地震を震源とした地震で河川管理施設が損傷した場合、津波等による二次被害が懸念される。



【園瀬川】川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進

市民の安全かつ安心な生活を確保するための対策が必要である

◆具体的要望内容

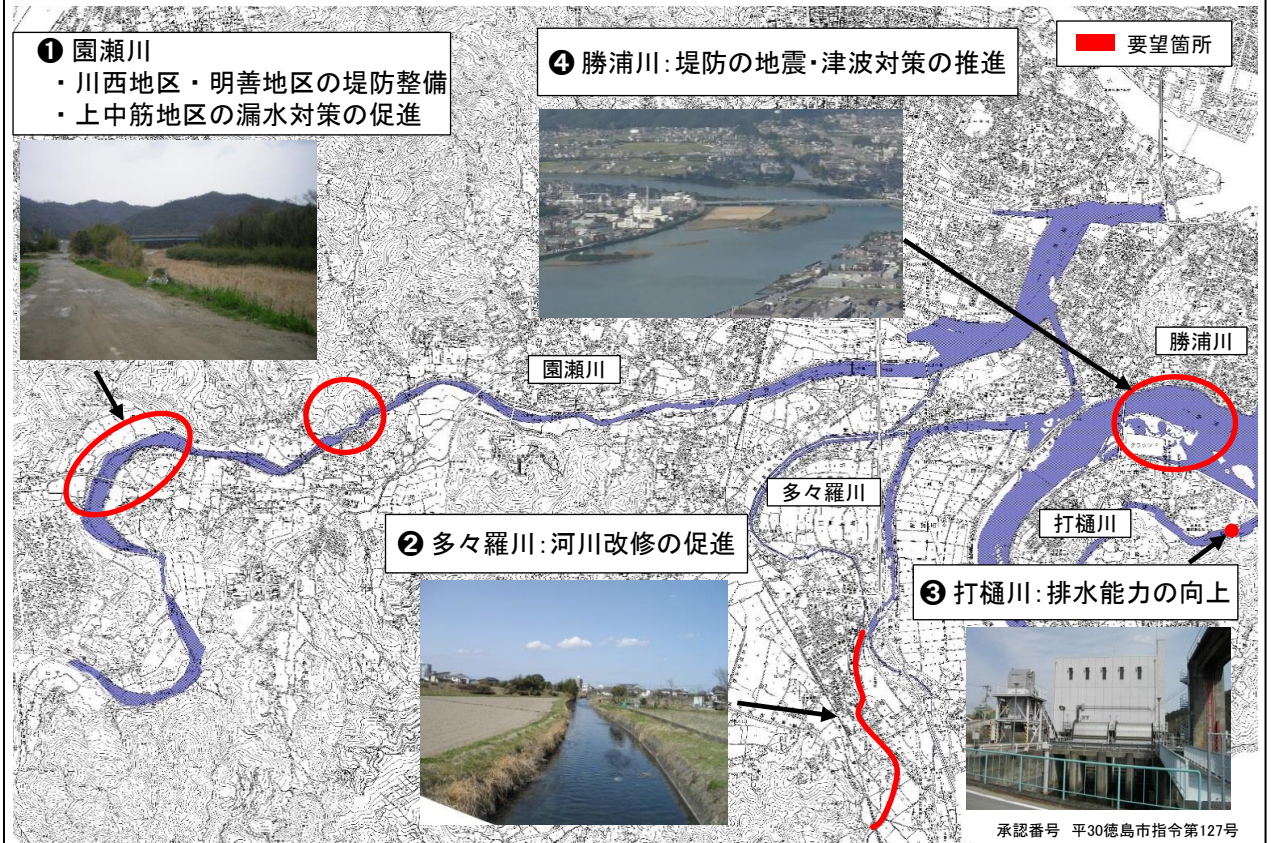
県管理河川における治水や地震・津波対策の促進に向け、予算枠の拡大と未整備箇所の事業促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 園瀬川 川西地区・明善地区の堤防整備及び上中筋地区の漏水対策の促進
- ② 多々羅川 河川改修の促進
- ③ 打樋川 排水能力の向上
- ④ 勝浦川 堤防の地震・津波対策の推進
- ⑤ 飯尾川 西大堀川、東大堀川の河川改修の促進、加減堰左岸側の撤去は角ノ瀬排水機場の排水能力及び下流部の流下能力に応じたものにする

用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

徳島市担当部課名 土木部 下水道事務所 保全課

園瀬川・多々羅川・打樋川・勝浦川 要望箇所 位置図



5 飯尾川 概要図





Tokushima City